

経営比較分析表

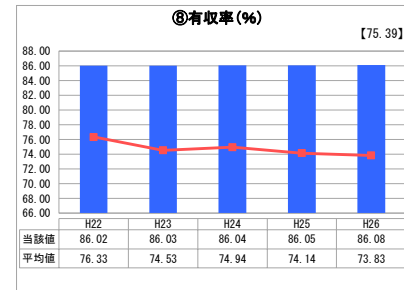
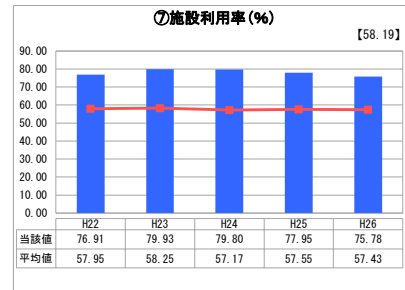
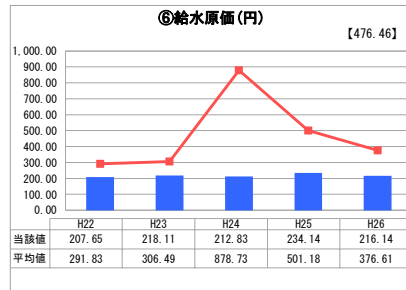
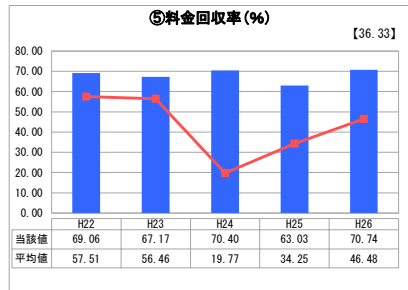
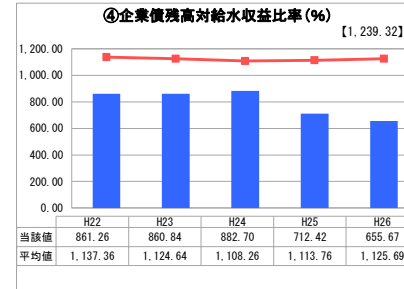
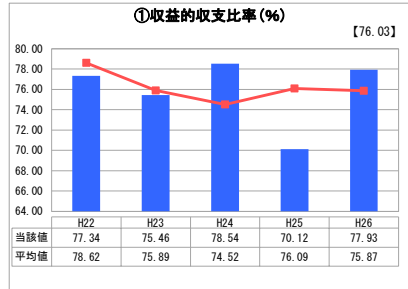
宮城県 日向市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	5.10	2,268

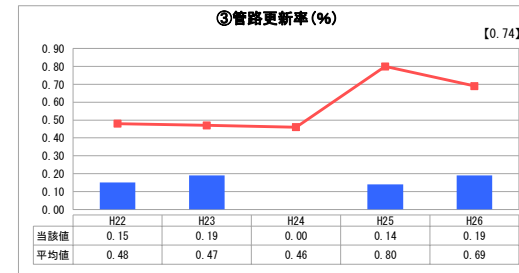
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
63,347	336.93	188.01
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
3,214	16.85	190.74

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成26年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「収益的収支比率」は、年度毎に増減がありますが、これは収益がほぼ同額なのに対し、実施する事業費の規模が大きく増減することによるものであります。また、70%台を推移しており、経営は赤字の状況が続いています。「料金回収率」は類似団体より高いことから、財源確保に努力していると言えますが、経営の健全性は厳しい状況にあり、今後、更新事業にかかる経費の平準化を図る等の対策が必要であります。

「企業債残高対給水収益比率」は類似団体より低い状況にありますが、現在継続中の簡易水道施設統合整備事業においても企業債を活用することとしており、財源の調整とともに借入額を抑制する等、将来への負担を軽減する努力が必要であります。

「給水原価」については、類似団体より低い状況にありますが、引き続き、安全な水質を保持しながら、経費の削減に努める必要があります。

「施設利用率」及び「有収率」はともに類似団体より高い状況にあり、現在のところ効率性の高い安定した運営と言えます。

2. 老朽化の状況について

「管路の更新投資の実施状況」については、「管路更新率」のとおり、類似団体と比較して低い状況にあります。また、現在の管路経年化率は19%で、引き続きの更新が必要ですが、現在、「簡易水道施設統合整備事業」を施工中であり、新たな財源の確保も厳しい状況にあることから、財政調整を図りながら、計画的に事業を行う必要があります。

全体総括

現在、国の補助制度を活用して簡易水道統合整備事業を推進していますが、補助制度が終了することに備え、新たな財源の確保が必要です。併せて「簡易水道施設統合整備基本計画」の見直しを行い、計画的な事業の実施について検討する必要があります。

※ 平成22年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。